

お申し込み・お問い合わせ ◎所沢クリドラタウン実行委員会

ホームページ <http://credra.org>
メールアドレス info@credra.org

※参加を希望される方は事前にメールで、「お名前・電話番号・お子様の名前/学校/学年」をご連絡ください。
(希望者多数の場合お断りする場合があります。)

◆所沢クリドラタウン実行委員会事務局 戸田 TEL.04-2928-0095

参加にあたっての注意事項

☆活動中はスタッフが常駐し安全面には充分配慮し、保険にも加入していますが、万一の事故や怪我についての責任は負いかねますのでご了承願います。

☆送迎は責任をもってお願いします。

☆活動記録のために写真・ビデオ撮影を行うことがあります。クリドラタウンまたはアートインライフのホームページや印刷物などに掲載する場合があります。差し障りがある方は事前にお申し出ください。

☆子ども達の様子や活動の意味を知っていただくため、必要に応じて保護者の会を行います。
※登録される方は以上をご確認のうえ、登録用紙に必要事項をご記入し提出してください。

29年度 所沢クリドラタウン 登録用紙

フリガナ		
氏名	小学校名	学年
住所 〒		
電話 番号	FAX 番号	
緊急 連絡先	電子メール アドレス	急な予定変更などをメールでお伝えします。
参加の 動機、 期待する ことなど		
アレルギー 有・無 品名()		
「参加にあたっての注意事項」 を確認しました。		保護者署名 印



楽しさ発見! みんなあつまれ
クリドラタウン
TOKOROZAWA Cre-Dra-Town

独立行政法人 国立青少年教育振興機構
平成29年度子どもゆめ基金
助成活動

さあ、想像の冒険をはじめよう!

おと 音やにおいから想像する世界



みんなで協力してかいじゅうになる



まじょ たからもの
魔女にぬすまれた宝物をとりかえせ!



もり たんけん
トイレットペーパーの森を探検だ



りょうり しょっかん た
いろいろなジャガイモ料理。食感のちがい、食べくらべ



くらやみ めいろ
暗闇迷路をぬけろ!



しゃしん
写真の人はどんなひと? どんなくらしをしてる?



ふしぎ かんが
不思議ないきものを考えてつくる



むら かいぶつ はっけん
村をこまらせている怪物発見! さあどうする?

プログラムの特長

- 楽しく体を動かして心を高揚させ、意欲を引き出します。
- 安心して自分を出せる環境を作り、自己肯定感を育みます。
- 五感や好奇心を刺激し、集中力や観察力、想像力を高めます。
- 自由でオリジナルな発想を、身体・言葉・造形・リズムなどで表現する創造的な活動を行います。
- 共同で体を動かしたり、考えたりすることによってソーシャルスキルを磨き、さらなる創造につなげます。
- 高学年は期末に行なう1日活動の計画を通して企画力・実現力を養います。

募集要項

- ・対象：所沢市内の小学生（定員25名） 参加者は随時募集しております。
- ・保険料：2000円
- ・参加費：月額1000円（年間9000円）
※別途材料費等（200円程度）がかかることがあります。その際は事前にお知らせ致します。
- ・講師：表現教育の専門講師（叶雄大 他 [NPO法人アートインライフ/月1回程度]）
所沢クリドラタウン講師（藤野裕子・中根久寧・関口千賀子・吉岡由美）
外部講師（大沢愛、進藤幸枝、シャキル・アバス）
※クリドラタウンに関わってくださるボランティアスタッフも随時募集しています。

開催日程・場所 ※いつからでも参加出来ます

年間34回（5月末～7月・9～3月上旬） 回数は高学年会議を含みます

活動日：木曜か土曜（月3～4回程度）

時間：木曜 16:30～18:00 土曜 11:00～12:30

場所：主に所沢市中央公民館

※会場の都合などで活動日が変更・休止になる場合もあります。

詳しい日程は、ホームページで確認いただくか、メールでお問い合わせください。

参加時の注意：サンダルやローラーシューズなどを避け、動きやすい服装で参加してください。

喉がかわくので、必ずお茶などの飲み物をお持ちください。

5-6月の活動日程：5月27日(土) 6月3日(土) 8日(木) 17日(土) 22日(木)

※このチラシで紹介している活動は以前に行った活動です、今回は別の活動をする場合もあります。

保護者の方へ

クリドラタウンでは想像力を使った遊びの場を提供します。ここでの“遊び”とは「自己コントロール、集中力と反射神経、自己表現、相互理解、創造性、協調性など社会で生きていくための能力を楽しみながら身につける」ものです。

●クリドラタウンの遊び（活動例）

【新聞紙 1枚だけで遊び尽くす】ただの紙でしかないものが船になり、崖の道になります。制限があるから想像力が広がり様々な対処方法を考え出すのです。

【魔女の館】河を渡り、ジャングルをぬけ、館に忍び込み、魔女に見つからないように部屋の中にあるものに変身して近づき、大切な宝をとりかえすという壮大な『だるまさんがころんだ』。舞台装置は何もなく、すべては想像の世界で展開します。

【ポートレートからその人を想像する】性格や家族構成を想像していくと、その人の生活や人生までが浮かびあがってきます。（国語の作文や社会の授業にも取り入れられるような活動です。）

【調理(食育)】スタッフが作ったとれたて野菜などを使い、香りや食感の違いを感じ分けたり、作る相手に思いを馳せたり、ただ料理をする以上の広がりを考えています。

【その他】暗闇の中での活動や、想像力を使った工作、五感を使った活動、運動会などを想像してその場の情景をみんなで作る『写真』の活動など。

こういった“遊び”の中で子どもたちは、決まった答えを強要されず、自由な発想を認められ、安心して自分を出せるようになります。異年齢の集団で互いの考えや創作したものにふれ、様々な個性と出会い、豊かな価値観を持てるようになります。そして、イメージを共有し、お互いに協力しあって想像の世界での難題を解決していきます。こういった創造的なドラマ活動（クリエイティブドラマ）を通して現実のコミュニケーション力やソーシャルスキルが高まり学校・社会での生きる力になります。



体験・読書活動などを応援し、子どもの健全育成の手助けをする「子どもゆめ基金」の助成によって、クリドラタウンは運営されています。